

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名**

万富の家

日付 平成 21年 3月 3日

特定非営利活動法人

**評価機関名**

ライフサポート

評価調査員 介護支援専門員経験8年

評価調査員 在宅介護経験10年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

**1. 評価結果の概要**

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)

リビングルームでは、大きなテーブルを囲んでちぎり絵を作成している。ちぎり絵を囲んで「同じ色じゃいけないかな？これでいいかな？…」と言いながら木がどんどんできていく。幹の真ん中に貼れていない部分が残っているが「ここからはもうわからん。終わりにしようか、光っているところがまだまだあるので乾かさんといけんなあ」と言いながら近くの椅子に置きに行く。「この丸く残った所はどうしよう？」「お兄さんの写真を貼ったらええが？」「そうするといつもその前で見ようよ」とお兄さんは少し困り顔をして「もっとどうしたらいいかな？」とのつぶやきに利用者にはこここ顔である。その後テーブルでは「私は10年生まれ、あんたは何年生まれ？大正よ」とお喋りが続く。みんなお腹を抱えて笑い転げている。「笑う門には百福招く」というような話を大切に、利用者みんながお互いを思い合って過ごしている。自分流の生活スタイルを第一に挙げているこのホームでは、洗濯も自分でして、干すのも昔懐かしい竿に打ちかけて干していく利用者、部屋で昼のドラマに見入っている利用者等、ベットに座り、手は広告でゴミ入れを休むことなく折り続け、そのうえ話も絶えない。この孫の結婚式の写真を見て、子供ができるならどうしても女の子が欲しいと教えてくれる。その笑顔の良いこと、私は賑やかなのが大好き等と言いながらお風呂に行く時などは賑やかである。ある利用者は「車押さないと歩けないし、この管もはずせんしなあ」とぼやく。ホームではみんな存在感があり、その上、お互いに気遣い落ち着く場所がよく分かる。

特に改善の余地があると思われる点

利用者一人ひとりを大切に自分らしく生活ができるように支援しているが、利用者の持てる力を引き出し、楽しみながら日々が送れるように身体機能の維持向上に努めていただきたいと提案する。

## 2. 評価結果（詳細）

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：特に改善点はない。</p> <p>2、全体的に見て…：管理者、職員みんな「ここは家の延長線上であり、その人らしい生活をしていただけるように、特に職員の側からはどうこうは言わず、強制のようなことはしません。本人さんが参加し、やりたいことであれば一緒にする、自分の意志で決めてもらっています」と言う通り何名かの人はちぎり絵の作成やテレビをソファに座って見ていた。料理の本を見て「これはうまそうなあ？ 今頃は腹がすくいっぱいになるんでな、ようけは食べられん」と言う。みんな思い思いの時間の過ごし方の中でお互いに思い合い、気にかけている様子が伝わってきて、心地よさが感じられた。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：特に改善項目はない。</p> <p>2、全体的に見て…：自分のペースでの生活を第一にして考えている。家族との関係を大切に、家族との連絡をしっかりと取り合えるようにしている。「そんな家族関係が利用者に着いた生活を作りだせている」と職員は言う。お正月には家に帰り、家族とお正月を過ごす利用者もいる。しかし、ホームに帰るとほっとして自分の普段の生活をとり戻すといった、家とは違う自分の住み家がホームである。皆落ち着いて自分流の生活ができる</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：特に改善項目はないが、今の様な寒い時期にも身体機能の維持向上が図れ、楽しんで出来る自分の目標を立てて取り組んでいただきたい。</p> <p>2、全体的にみて…：ホームの生活の場を家庭の延長線上に位置付けられるようにということを一番大切にしている。そのために家族との関係を密にし、利用者が安心して生活できる場作りを共に協力して作り上げていこうと取り組んでいるのがよく分かる。自分でしたいこと、できることを引き出す支援があり、自分で決めて行う事は在宅生活の延長線上にあると確信できる。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：家族同士の交流促進の項目について要改善を挙げている。今後の取り組みとして家族と職員との関係をも密にし、家族同士の交流にも発展させていこうと取り組んでいる。</p> <p>2、全体的にみて…：管理者始め職員皆が言う。「一人ひとりを大切にすることは、その人らしさを大切にすること。利用者サイドにということは、自分に置き換えて考えるとどうか？ こうしてもらおうと大変良いと思う。この思いを職員みんなが心に持ち、家族との関係を密にして情報を共有することができ、より良いサービスにつながっていて、利用者の生活の質の向上につながっていると思うのです」と自信を持った言葉で安心感を与えられた。</p>		